

家計簿におきかえてみると…

川崎市の一般会計を家庭の収支におきかえて眺めてみましょう。
限られたお金を活かし、バランスのとれた使い道を考えるという点では市の予算と家計は似ています。
スケールを身近なサイズに変えて「川崎市の財政」を実感してみましょう。

財政を家計の項目に
合わせ、こんな家計簿を
つくってみました。

例えば年収を500万円とすると…

収入月額

月収
お父さんとお母さんの給料
市税等の自主財源
416,700円

役所からの助成金・奨学金
国・県支出金など
220,700円

各種ローンの借入金
市債発行
56,500円

収入計 **693,900円**

支出月額

義務的経費
食費 人件費 147,100円
医療費など
扶助費 172,200円
ローンの返済
公債費 71,800円

車の購入・自宅の増改築・修繕費
投資的経費など 103,200円

子どもへの仕送り・おこづかい
補助費等・貸付金・繰出金など
130,600円

光熱費・被服費
物件費 69,000円

支出計 **693,900円**

ご家庭で
おうちの皆さんと
一緒に見くらべて
みましょう。



うちとは少し違うな…

食費や医療費など
「義務的経費」の部分は
支出の中で大きな割合を
占めていることがわかります。

